

「中学校統一テスト」(チャレンジテスト)に関する 申し入れを和泉・高石・忠岡の教育委員会に提出

和泉市教育委員会
教育長 藤原明 様

2016年1月19日

泉北教職員組合
執行委員長 井谷武志

「中学校統一テスト」に関する申し入れ

日頃は本組合の申し入れに対する誠実な対応に感謝いたします。
標記の点について、下記の点を申し入れますので、回答をお願いいたします。

記

- (1) 今後「統一テスト」を実施しないよう市町村教委から府教委に働きかけること。
とりわけ、新3年「統一テスト」の実施を行わないように働きかけること。
- (2) 今後「統一テスト」に市町村教育委員会として参加しないこと。とりわけ、6月
23日の3年「統一テスト」に参加しないこと。
- (3) 「統一ルール」に従って中学1年・2年の調査書評定の是正を強制しないよう、
府教委に強く働きかけること。
- (4) 貴教育委員会から各中学校調査書評定の是正を強制しないこと。

【資料】大教組の質問に対して、府教委が回答した5点にわたる事項

中学「統一テスト」は生徒の学習状況の把握するための「調査」であり、各市町村教育委員会
や各中学校に対して実施を強制する法的根拠をもたない。「統一テスト」の参加主体は各市町村
教育委員会である。「統一テスト」に参加するか否かは各市町村教育委員会の判断であり、強制
されることはない。

「統一テスト」に参加しない市町村教育委員会では、「統一ルール」は適応外となり、参加し
ない市町村の各中学校調査書評定を強制的に是正させることはない。

「統一ルール」はまた、中学1年生・2年生の調査書評定に適用されるが、「統一ルール」に
基づいて、各中学校調査書評定が是正されたか否かを具体的に検証することはおこなわない。ま
た検証そのものは不可能である。

新中学3年の「統一テスト」が修学旅行や学校行事と重なった場合、各学校行事が優先され、
再度の「統一テスト」は実施しない。「統一テスト」を実施できなかった中学校の「評価範囲」
は市町村教委や学校とよく相談して、類似のテスト等を参照して範囲を作成する。

中学「統一テスト」結果を生徒の序列化や学校の序列化に利用することはしないし、生徒の成
績評定に利用することは決しておこなわない。中学校が「統一テスト」の点数のみで評定を作成
した場合は、「統一テスト」の実施目的に反するので厳しく指導する。

中学校教育に大きなゆがみをもたらす 大阪府チャレンジテストに反対します

泉北教組ではこれまで「中学校統一テスト」につ
いて、各教育委員会から府
教委に中止を強く求めるよ
うにという要求を行ってき
ました。

公立高校選抜制度変更によ
り「大阪府チャレンジテス
ト」の結果をもとに、選抜
に使われる調査書の評定
(内申点)の範囲が規定さ
れるものである。という
口頭回答がありました。

さらに、12月末に配付さ
れた府教委からの「中学1
年生と保護者のみなさん
へ(平成27年度12月大
阪府教育委員会)」という
リーフレットでは、「各中
学校等は、みなさんの個々
のチャレンジテストの得点
が、府教育委員会の設定し
た『評定の範囲』内にある
ことを確認します。」とし
ており、チャレンジテスト
の結果により、個々の生徒
の評定までも変更されるこ
とが記されています。この
ようなチャレンジテストを
実施することは、中学校教

育に大きなひずみをもたら
すものと考えます。
このような事実を踏まえ、
泉北教組は和泉市・高石市・
忠岡町の3地教委に対して、
改めて左のような申し入れ
を行いました。



泉北教組臨時大会 女性部臨時大会

2月18日(木) 午後5時30分
和泉コミュニティセンター